

(収支内訳書作成前にまとめておくとう便利です)

令和7年分 農業所得整理表 奥州市

収入	科目	合計	区分	品名	数量	金額		備考	
						農協出荷分	農協以外分		
	①販売金額	円	田畑	米	kg	円	円	農協以外分には市場、産直、直接販売等の合計を記入してください。	
				野菜	kg	円	円		
				果樹	kg	円	円		
				その他	kg	円	円		
			畜産	牛など110万円以上(税込)／頭	頭	円	円		
	牛など110万円未満(税込)／頭	頭		円	円				
	②事業事消費費	合計		品名	数量	1 kg当り単価	金額 (数量×単価)		備考
円		米(玄米・もみ)	袋	円	円	1kg当り単価は、販売金額と販売数量から算出します。	米については販売がない場合は、市で設定した単価(524円/kg)で計算します。		
		野菜	kg	円	円				
		その他	kg	円	円				
③雑収入	合計		名称					金額	
	円	前年精算米等(農協:米関係所得計算に係る証明書にある雑収入の合計)							円
		多面的機能支払交付金							円
		中山間地域等直接支払交付金							円
		営農組合分(営農組合損益分配表等にある収入合計額)							円
		経営所得安定対策等交付金(東北農政局:歳出金)							円
		農作業受託料							円
		補助金・助成金等(物価等高騰対策支援給付金 等)							円
		その他							円
電柱敷地料、農地の貸付による収入(小作料等)は、不動産所得として申告してください。									
(①+②+③) ④収入計	円	免税牛収入額 免税収入按分率の計算 ＝ 農業総収入額						備考	
								小数点第2位未満切捨て	

経費	科目	合計	田畑分	牛分
	⑧雇人費	円	円	円
	⑨小作料賃借料	円	小作料	円
			施設利用料(ライスセンター、カントリー等)	円
作業(機械)委託料			円	

牛分の経費を免税収入按分する場合は事前に按分率(免税牛収入 ÷ 農業総収入)を算出してください

職員記載欄 増 減 同

(※1) ⑩ 減価償却費、㊟ 動力光熱費 は、裏面を利用して算出してください
(※2) ㊿ 営農組合(雑費) は、項目ごとに振り分けせず、営農組合損益分配表等にある支出合計額を記載してください

経費	科目	合計	田畑分	牛分		
	⑩減価償却費(※1)	円	※裏面を利用して算出してください	※裏面を利用して算出してください		
	㊿牛馬果樹償却費	円	円	円		
	⑪貸倒金	円	円	円		
	⑫利子割引料	円				
	①租税公課	円	固定資産税(農業関連分のみ)	円	固定資産税(農業関連分のみ)	円
			軽・自動車税(農業用)	円	軽・自動車税(農業用)	円
			賦課金、部会費	円	賦課金、部会費	円
			その他	円	その他	円
	⑩種苗費	円	水稻:種子・床土・苗代	円	野菜:種子・床土・苗代	円
①素畜費	円			種付料	円	
				子牛等取得費	円	
				その他	円	
②肥料費	円	円	円			
③飼料費	円			円		
④農具費	円	円	円			
⑤農業衛生費	円	円	予防接種代	円		
			消毒、診療費等	円		
			削蹄、去勢費等	円		
⑥諸材料費	円	円	円			
⑦修繕費	円	円	円			
㊟動力光熱費(※1)	円	※裏面を利用して算出してください	※裏面を利用して算出してください			
㊿作業用衣料費	円	円	円			
㊿農業共済掛金	円	水稻共済掛金	円	家畜共済掛金	円	
			農機具共済掛金	円	その他	円
㊿荷造運賃手数料	円	農産物販売手数料	円	畜産物販売手数料	円	
			その他	円	その他	円
㊿土地改良費	円					
③車両費	円	円	円			
④各種負担金	円	円	円			
⑤中山間(雑費)	円	円				
㊿営農組合(雑費)(※2)	円	円	円			
㊿雑費	円	円	円			
⑬小計(①～㊿)	円	円	円			
⑭経費計(⑧～⑫+⑬)	円	円	円			

肉用牛の売却による農業所得の課税の特例を受ける場合の経費は「牛分」に記入し、そのうち、収入按分するものについては、金額を丸印で囲ってください

⑩減価償却費の計算 (牛馬果樹償却費)

※償却開始年、廃棄・売却年以外の償却期間は12/12とします

- 1) 減価償却資産は、取得価額が10万円以上で農業用に使用されているものに限りです
- 2) 取得年月に関わらず、平成21年1月以後の償却費は、新耐用年数により計算します
- 3) 農業用の機械及び装置等の耐用年数は、一律、7年です
- 4) 減価償却の最終年に1円(備忘価格)まで償却します

	(A)	= (A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(F) - (E)		
減価償却資産の名称等	取得 年月	取得 価額	償却の基礎 になる金額	耐用 年数	償却率 (=1/耐 用年数)	償却 期間	事業 割合 (%)	償却費(必要経費算入額) = (A) × (B) × (C) × (D)	期首 未償却残高	未償却残高 ※(E)は事業割合 を乗ずる前
【記載例】(既取得分) トラクター	R4.1	4,000,000	4,000,000	7	0.143	12/12	100%	4,000,000円×0.143×12/12×100% =572,000円	2,284,000	1,712,000
【記載例】(新規取得分) トラクター	R7.4	4,000,000	4,000,000	7	0.143	9/12	100%	4,000,000円×0.143×9/12×100% =429,000円	4,000,000	3,571,000
【記載例】(新規取得分) 田植機	R7.3	1,500,000	1,500,000	7	0.143	10/12	100%	1,500,000円×0.143×10/12×100% =178,750円	1,500,000	1,321,250
【記載例】(新規取得分) 軽トラック(事業割合50%)	R7.11	1,500,000	1,500,000	4	0.250	2/12	50%	1,500,000円×0.250×2/12×50% =31,250円	1,500,000	1,437,500
【記載例】(一括償却分) 草刈機	R7.6	180,000	180,000	-	1/3	-	100%	180,000円×1/3×100% =60,000円	180,000	120,000
【記載例】(新規取得分) 繁殖牛 ※牛馬果樹償却費	R7.7	400,000	400,000	6	0.167	6/12	100%	400,000円×0.167×6/12×100% =33,400円	400,000	366,600
⑩減価償却費(牛馬果樹償却費)合計								円		
								(うち牛馬果樹償却費 円)		

【参考】平成20年12月31日までに取得した資産の償却費の計算方法

取得時期	基礎金額(A)	耐用年数	償却率(B)	償却期間(C)	事業割合(D)	特別な取り扱い	備忘価額
①平成19年3月31日以前取得分	取得価格×90%	新耐用年数を使用する	1/耐用年数(小数点以下第4位を切り捨て)	・償却開始年は開始月から期間 ・廃棄(売却)年は廃棄(売却)の前月までの期間	農業に要した割合(生活用3割なら事業割合70%)	取得価格の95%まで償却し、その翌年以降5年間で取得価格の1%ずつ償却する。	1円まで償却する
②平成19年4月1日以後取得分	取得価格と同額	※期首未償却残高を算出する際は、平成20年12月までは旧耐用年数を使用することに注意	1/耐用年数(小数点以下第4位を切り上げ)			なし	

※期首未償却残高によっては、耐用年数を経過する前に1円(または取得費の95%)まで償却する場合があります。

㊦動力光熱費の計算

	水道料			電気料(動力)			ガソリン代			軽油代			その他()		
月	支払金額 (A)	事業 割合 (B)	必要経費 A×B	支払金額 (A)	事業 割合 (B)	必要経費 A×B	支払金額 (A)	事業 割合 (B)	必要経費 A×B	支払金額 (A)	事業 割合 (B)	必要経費 A×B	支払金額 (A)	事業 割合 (B)	必要経費 A×B
1月															
2月															
3月															
4月															
5月															
6月															
7月															
8月															
9月															
10月															
11月															
12月															
合計															

※事業割合とは、農業に要した割合をいいます。農業以外にも使用している資産、経費は、必ず事業割合を算出し、経費計上してください。

㊦ 動力光熱費合計

〔 うち田畑分

うち牛分

円

円